

14 「県民の安全・安心」、「地域経済の生産性向上」、「地域の活力と豊かな暮らし」に資する社会資本整備の推進

(国土交通省)

木津川水系直轄砂防の推進



木津川
木津川水系直轄砂防事業
砂防整備計画
2016(H28)～2025年
約20 渓流を整備
(奈良・三重 両県分)

実施箇所図 (名張市防災マップ)
中小河川緊急治水対策プロジェクト
【土砂・流木対策】
谷出3、谷出4
透過型砂防堰堤を整備



○人口8万人の名張市街地
○大阪・奈良・三重を東西に結ぶ主要な交通基盤
国道165号【交通量 約2万台/日】
近鉄大阪線【名張駅乗降人員 約1万2千人/日】
が土砂災害と氾濫から守られ、
住民、主要な交通基盤と利用者の安全が確保されます。

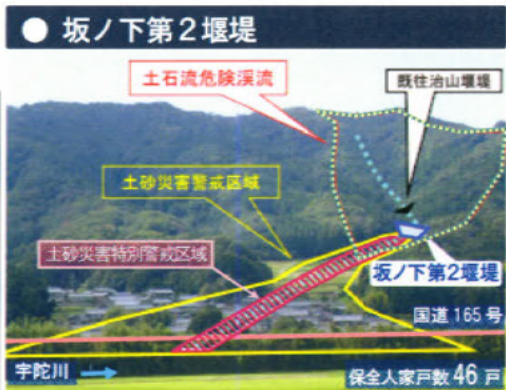
さらなる事業の推進を！

土石流危険渓流が宇陀川沿いに連担しており、要配慮者利用施設、公共施設、国道などが保全されます！



事業実施概要

	谷出3	谷出4	坂ノ下2
平成30年度	堰堤工 用地買収 工事用道路		
平成31年度	堰堤工	堰堤工	用地買収 工事用道路

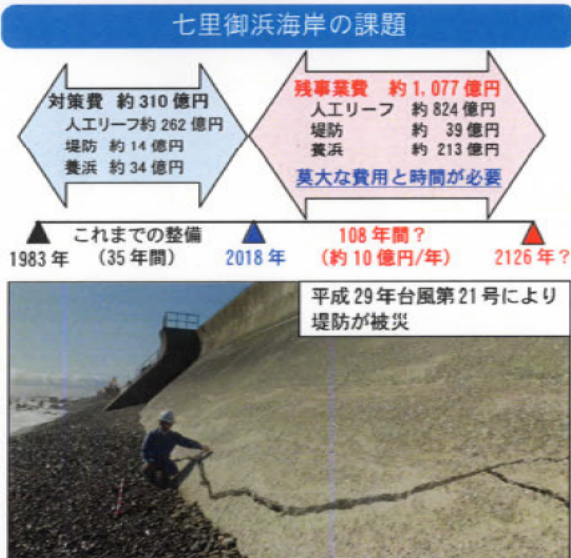


提言 三重県内における木津川水系直轄砂防事業をより一層推進すること。

【県土整備部】

14 「県民の安全・安心」、「地域経済の生産性向上」、「地域の活力と豊かな暮らし」に資する社会資本整備の推進

(国土交通省)



熊野川

流域の課題



現在の取組

- 「熊野川の総合的な治水対策協議会」
- 国：「緊急対策特定区間」の河道掘削を実施
- 県：交付金事業による河道掘削を実施

- 取組内容
- 治水対策
河川管理者による堆積土砂撤去
水利ダムの治水運用の実施
 - 濁水対策
流域の崩壊地対策の実施
堆積土砂撤去、ダムの施設改善
ダムの運用改善(濁水早期排出)

成果

- 平成29年台風第21号では、成川地点で約2.0mの水位低減効果を確認(河道掘削により約0.9m、ダムの事前放流により、約1.1m低減)
- 上流部では関係機関の対策により、濁水の発生期間が短縮

早期課題解決に向けて

- 緊急対策特定区間における直轄河川改修事業の更なる推進
- 協議会でとりまとめた取組を確実に実施するため、国によるマネジメントの強化

海浜侵食状況 (井田地区海岸)



熊野川直轄河川改修事業による掘削土砂を大規模に投入することにより、海浜が安定しています。

施設整備には膨大な事業費が必要です。

対策が複数県に跨ります。

○熊野川流域(三重県・奈良県・和歌山県)から発生する、土砂の管理が必要

○熊野川の複数の管理者、関係機関の調整が必要

直轄事業化

高度な技術力が必要です。

- 国立公園、世界遺産に指定され、景観に配慮した対策
- 太平洋の高波が来襲する、過酷な施工条件
- 熊野川流域の土砂管理や、砂利浜の安定を図るための高度な解析
- 河口閉塞の対策

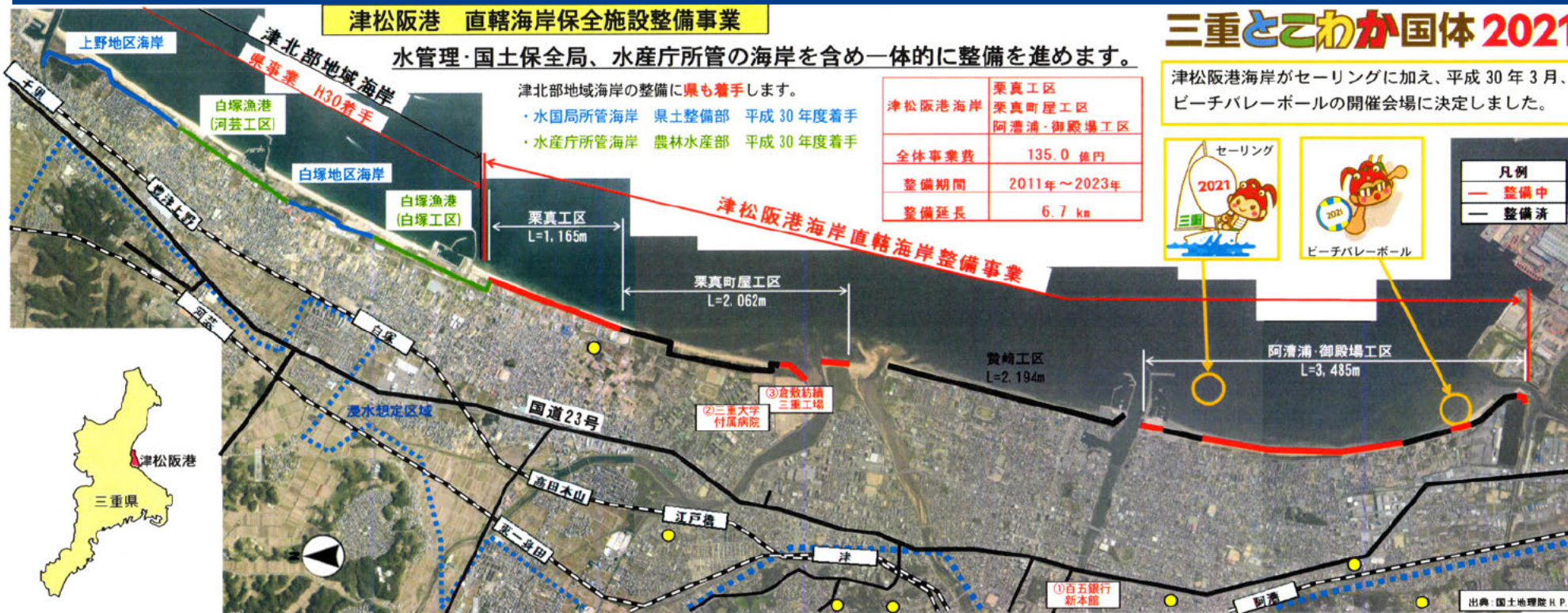
提言

- 1 七里御浜海岸における侵食対策を直轄事業化すること。
- 2 熊野川緊急対策特定区間における直轄河川改修事業を推進すること。
- 3 協議会でとりまとめた取組を確実に実施するため、国によるマネジメントを強化すること。

【県土整備部】

14 「県民の安全・安心」、「地域経済の生産性向上」、「地域の活力と豊かな暮らし」に資する社会資本整備の推進

(国土交通省)



海岸堤防の耐震化により背後地の安全・安心が向上 様々なストック効果が発現

<p>①株式会社百五銀行 新本館ビルの建設 (H27 使用開始) ・免震構造により、災害時においても事業継続可能 ・延べ床面積約 36,000 m²/2 棟 ・津市避難ビルとして活用</p>	<p>③倉敷紡績(株)三重工場 建物・設備の拡大 (H24 操業開始) ・他工場の既存設備も新工場に集約し、生産・開発体制を強化 ・延べ床面積約 15,000 m² ・高品質の機能性フィルムを生産</p>
<p>②三重大学附属病院 新外来病棟を新設 (H27 使用開始) ・手術支援味'ット、ハイリット'手術室、最新の CT 装置などを導入 ・延べ床面積約 28,000 m² ・診察室 131 室</p>	<p>●堤防整備着手後の宅地開発 ・開発戸数 600 戸以上 ・開発面積 12,000 m²以上</p>

国体会場周辺の整備状況

<p>セーリング会場付近</p>	<p>ビーチバレーボール会場付近</p>
------------------	----------------------

提言 2021 年開催「三重とこわか国体」会場周辺を含む直轄海岸事業を強力に推進すること。

【県土整備部】

14 「県民の安全・安心」、「地域経済の生産性向上」、「地域の活力と豊かな暮らし」に資する社会資本整備の推進

(気象庁)

土壌雨量指数の高解像度化

土砂災害は命の危険を脅かすことが多いため、避難行動をできるだけ早く行うことが必要

市町村には、避難勧告等の迅速かつ的確な判断が求められている！

(土砂災害防止対策基本指針(平成 27 年 1 月、国土交通省))

気象庁のメッシュ情報
(土砂災害警戒判定用)

市町村の避難勧告等

住民の避難行動

また、メッシュ情報を用いた避難対象の絞り込みが求められている！

(避難勧告等に関するガイドライン(平成 29 年 1 月、内閣府))

「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」(平成 27 年 1 月、国土交通省)への対応

国、都道府県には、きめ細かな情報の提供が求められている！

- 住民の避難を促進するためには、気象予警報等の各種防災情報について、必要な改善等を進めていく必要がある。

「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」を受けた国と県の具体的な取組

国は 土壌雨量指数を高頻度化
(気象庁、平成 30 年 3 月)

- ✓ 高頻度化(10分更新)
更新時間の短縮【30分⇒10分】
従来よりも最大20分迅速に！

△高解像度化(1km メッシュ)未了

県は「情報提供システム」を再構築
(三重県、平成 30 年 3 月)

- ✓ 高頻度化(10分更新)に対応！

- ✓ 高解像度化(1km メッシュ)に対応！
- ☆メッシュ情報を学校区単位など地域別表示！

現状

土壌雨量指数は 5km メッシュで提供されている

- ▲ 避難対象の絞り込みが困難な状況
- ▲ 地域・警戒区域ごとの危険度が不明確

市町村から精度向上の要望が出されている

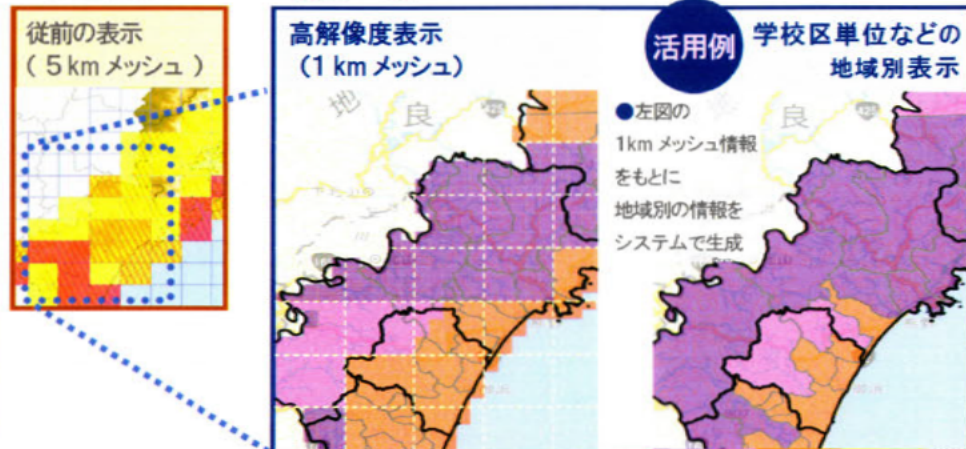
高解像度化

1km メッシュ化

土壌雨量指数の高解像度化の早期実現を！

- ✿ 避難勧告等の発令単位に合わせた情報提供が可能に！
- ✿ 危険度が地域・警戒区域ごとに明確となり、地先の判断材料に！
- ✿ 住民や要配慮者利用施設の管理者等による地域ぐるみの避難促進に！

▼高解像度化された情報の活用イメージ



提言 市町村における警戒避難体制を支援するため、土壌雨量指数の高解像度化を早期に実現すること。

【県土整備部】